

令和 3 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	(下水道)ポンプ場維持管理事業	会計名称	下水道特別			担当課	都市住宅課	
		予算科目	1 款 1 項 2 目	事業番号	9961	所属長名	三谷陽紀	
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)					担当責任者名	大塚直人	
法令根拠等	下水道法					実施期間	【開始】	令和/平成 28 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 潤いのある水環境づくり						【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	総合計画の取組方針を達成するために、施設を適正に維持管理し浸水被害を未然に防ぐ。							
事業の対象	市民			事業の目的	市内各所にある3つの雨水ポンプ場施設を適正に維持管理を行い豪雨災害等を未然に防ぎ、市域の防災・安全の確保を図る。			
事業の内容(整備内容)	市内各所にある3つの雨水ポンプ場施設の維持修繕等を行う。			昨年度の課題に対する具体的な改善策				

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)						
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績	
直接事業費	32,417	40,802	91	0	0	37,441	浸水被害戸数	件	0	0	0	0	
財源内訳													
国庫支出金		0	0	0	0	0							
県支出金		0	0	0	0	0							
地方債		0	0	0	0	0							
その他	32,417	40,802	91	0	0	0							
一般財源	0	0	0	0	0	37,441							
職員の人工(にんく)数	1.00	1.00				0.00							
1人工当たりの人件費単価	7,812	7,841				7,841							
※ 直接事業費+人件費	40,229	48,643				37,441							
主な実施主体	伊予市		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)										
向こう5年間の直接事業費の推移(千円)					4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年間の合計			
					20,000	18,000	18,000	18,000		74,000			
成果指標	指標	浸水被害戸数	単位	件	⇒	区分年度	前年度	3年度	4年度	目標 毎年度			
	指標設定の考え方	浸水等の被害を未然に防ぐことで適正な維持管理が行われていることを成果指標とした。				目標							
	指標で表せない効果												

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		市内3箇所の雨水ポンプ場(安広・大谷・梢川)について、適正な雨水排水処理が出来るよう日々の点検や改修等を行い浸水被害を防ぐことができた。									
事務事業評価	自己判定(担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が 14~15: S 10~13: A 8~9: B 5~7: C 3~4: D	A	事業成果・工夫した点	適正な保守点検により、梢川ポンプ場において機器の不具合を発見し、来年度予算に計上でき早急な予算措置が出来た。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4					
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
		コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4						
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
	一次判定(所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が 14~15: S 10~13: A 8~9: B 5~7: C 3~4: D	A	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業継続と判断する。</li> <li><input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する</li> <li><input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する</li> </ul> (判断の理由) 雨水処理施設を適正に管理し、豪雨時の浸水被害を未然に防ぐ必要があるため。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4						
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4						
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4							
	コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3							
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3							
評価	所属長の課題認識						A		ストックマネジメント計画に基づき機器の更新を行ない、適切な施設管理を行なわなければならない。		

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 機器類の修繕来歴を整理し、常に正常な状態で稼働させ、計画的な修繕を施すことで、社会資本の長寿命化、予算の縮減が図れる。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	